

令和元年度 学校自己評価表 (計画段階・実施段階)

学校運営計画 (4月)		評価 (3月)	
学校運営方針 教育基本法並びに学校教育法の理念に則り、生徒一人ひとりを大切にするとともに、学校集団としての連帯感を高め、社会性を育む教育をとおして心豊かな人間形成を目指し、組織的・計画的な教育活動を展開する。 「鍛えて、ほめて、生徒の可能性を伸ばし、明るく元気な学校、専門学科としてのスペシャリストの育成」実現に向け、『目指す学びがここにある！』～チーム筑水～として、①「あなたの志(おもい)に応えます」、②「あなたを鍛えて伸ばします」、③「あなたを立派に育てます」の3つの取組を実践する。			
昨年度の成果と課題 ○成果 1 生徒の実態に合わせた授業内容の工夫と改善が進み、学習意欲と授業規律の向上が図られた。 2 挨拶・時間厳守など基本的な生活習慣が確立され、出席状況の向上が図られた。 3 希望進路の多様化に対応できる進路指導を確立し、卒業生全員の進路決定を目指す基盤づくりができた。 4 ホームページの更新・学校紹介動画の全面改定により、広報活動が活発化した。 ○課題 1 生徒の人權意識や規範意識の更なる向上を図る。 2 更なる広報活動の見直しにより入学志願倍率の向上を図る。 3 生徒が変えた様々な課題に対応できるように、教育相談体制を充実する。 4 部活動の加入率を上げ、学校活性化を図る。	年度重点目標 ○学習環境を整え、基礎学力の定着を図り、社会的自立の基盤となる確かな学力の育成と実践力の向上を目指す。 (あなたの志に応えます) ○農業・福祉・調理の専門分野におけるスペシャリストを育成するため、キャリア教育の充実を図り、希望進路の100%実現を目指す。 (あなたを鍛えて伸ばします) ○基本的な生活習慣の確立と規範意識の高揚を図るとともに、自律心と思いのある心豊かな人間形成を目指す。 (あなたを立派に育てます)	具体的目標 ・基礎学力の定着と学習意欲及び実践力の向上に向け、「主体的・対話的で深い学び」を導入するなど、授業の工夫改善及びきめ細かい指導を行う。 ・1時間の授業を大切に生徒の理解度を確認し、学習目標の明確化により、能力に応じた規律ある授業展開と、確かな学力の育成を図る。 ・各学科等の特色を生かした資格取得やコンテスト・各種競技等の指導を充実し、キャリアアップを図る。 ・美化活動を徹底し、授業に取り組む学習環境と安全・安心な学校環境を整える。 ・3年間の継続的・組織的な指導体制のもと、効果的な現場実習や外部人材を活用して生徒の進路意識の高揚を図る。 ・各学科において、将来のスペシャリストにふさわしい専門知識と技能を身につけさせるとともに、勤労観と職業観を育成する。 ・生徒の進路決定100%の実現に向け、生徒の興味・関心及び適正を重視した進路指導と、全職員による企業及び大学等への訪問を行う。 ・部活動を豊かな学校生活を体験する場として位置づけ、自主的・自発的加入を促進し、体力や技能の向上に加え責任感や連帯感の涵養を図る。 ・全教科・領域、学校行事、ボランティア活動において、自尊感情の育成、自律心と思いやりのある心の育成を図りじめの挨拶と人権意識の高揚に努める。 ・担任、学年、学科相互の情報共有を図り、スクールカウンセラーや保護者等との連携がとれた教育相談体制のもと、中途退学者ゼロを目指す。	
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価 (3月)
教務	社会的自立の基盤となる確かな学力の育成と実践力の向上を目指す	「主体的・対話的で深い学び」の実践を深める 習熟度別・少人数授業の充実を図る 大学進学に対応できる学力の育成に向けた体制を作る	
	授業改善のために、授業内容等の見直しを図る	評価の改善等の導入を行う 教務内規の見直しを図る 情報処理室・視聴覚室・電子黒板等、教育設備の整備と有効活用を図る	
	全教科・科目をとおして授業規律を守り、授業に集中できる環境作りを行う	教科担当者において、生徒の情報等を共有し授業改善につなげる 生徒の遅刻・欠席の統計を取り、欠席遅刻の多い生徒の指導を行う 授業規律の確立と学習環境の整備を図る	
企画庶務	各部・各課との連絡調整を行い、円滑な公務運営に努める。	各行事の円滑かつ組織的な連絡調整を行う。 公簿・資料作成を円滑に行う。 学校防災の実施	
	PTAと連携し、地域に根拠した教育活動を推進する。	PTA活動に積極的に参加する。 PTA活動の広報に努める。	
	広報活動の推進	筑水通信の充実と円滑化を図る。 各種行事の記録を行う。	
生徒指導	基本的な生活習慣の確立	学年・学科と連携し、頭髪・服装指導を徹底する。 全校集会等を活用し、挨拶・時間・服装等に対する意識の高揚を図る。 問題行動に対して、学年・学科と連携し、迅速な対応、個に応じた細かい指導に努める。	
	生徒会活動の活性化	部活動紹介を実施し、新入生の部活動加入率を向上させる。 各種委員会の継続的な活動を推進し、生徒の自主活動を活性化させる。	
	教育相談の充実	各学年及び各分掌との情報共有と協力体制を確立する。 生徒の個に応じた細かい対応と、関係機関との連携を推進する。 いじめに対して、学年・学科と連携し、早期発見と迅速な対応に努める。	
	安全教育の徹底	自転車・バイクの実技講習を実施する。 SED講習会を実施する。	
保健	生徒の健康増進と安全に対する意識の醸成	登校指導を充実させる。 健康増進と安全に関する啓発活動の一環として、保健だまりの充実を図る。 健康診断や健康調査を実施し、個々の健康状態を把握するとともに、個別指導及び支援につなげる。 生徒の衛生面、安全面の管理を徹底する。	
	学習環境の整備と保身に心を掛けた美しい学校づくり	美化コンクールを年2回実施し、生徒の美化意識の醸成を図る。 ゴミの減量化に向け、各教室やトイレ等に啓発ポスターを掲示するとともに、ゴミ集積所でのゴミのチェック、分別を徹底する。 美化委員会でゴミに関する研究を行い、文化祭等で発表する。	
	教育相談・特別支援教育の体制作り	生活アンケートをもとに個人面談週間を実施し、個々が抱える悩みや問題などを把握し、いじめ等の早期発見・対応に努める。また、スクールカウンセラー等を最大限に活用し、相談できる体制を確立する。 サポートポイントの活用マニュアルを確立し、生徒理解に努めるとともに、関係職員と情報を共有し、支援策を検討する。 支援が必要な生徒に関しての学習会等を行い、生徒支援について職員間の共通理解を図る。	

令和元年度 学校自己評価表 (計画段階・実施段階)

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)	次年度の主な課題
進路指導	「生徒に考えさせる進路指導」をテーマとし、各学年の進路学習の流れの再構築を行う	各学年における進路学習HR内容の再構築を行う。 進路行事を系統的に繋がるように実施する。 進路学習HRに「進路の手引」を活用する。		
	他分掌と連携し「凡事徹底」を行い、基本的な生活習慣を確立させる	受験カレンダーを活用し、提出書類等の期日を守らせる。 挨拶言葉遣いなどコミュニケーションをとる上で、当たり前のがきちんとできるようにする。		
	担任・学科担当者と連携し、生徒理解に努め、ミスマッチのない進路指導を行う	就職希望生徒全員との面談を実施し、丁寧な指導を行う。 就職希望生徒全員に対する面接指導を実施する。		
	基礎学力の定着を図る企画を考える	学科の協力を得て企業訪問を行う。企業訪問計画を作成し実施する。 基礎学力テストを活用し、教科指導・生徒理解・三者面談に活用できるよう、研修会を企画する。 基礎学力テストのデータを蓄積し、進路指導に役立てられるものにする。		
広報	本校職員による中学校訪問	できる限り早期に中学校を訪問し、本校の体験入学や相談会などの行事の周知を図る。 学校案内パンフレットや広報用チラシなどを対象の全生徒に配布する。 中学校の先生方へ本校の教育内容を十分理解していただく。		
	体験入学・進路相談事業・親子相談会などの広報行事の充実	体験入学では積極的に各学科における体験型授業を取り入れ、生徒・保護者の本校理解を深める。 進路相談事業において生徒・保護者に有益な情報を提供できる取り組みを考える。 親子相談会において生徒・保護者の疑問を解消し、本校理解が深まる様な取り組みとなるよう各学科の協力を仰ぐ。		
	上記以外の学校PR活動の推進	学校ホームページを更に充実させ、利用者が見なくなるようなページ作りを心がける。 旧年度、サイトの更新が行われていない各部・各科に日頃の教育活動を外部に発信していく。 各部活動の活動状況などもこまめに更新していくようにする。		
図書研修	分かる授業の推進・実践に取り組む	授業アンケートを実施し結果を授業改善に生かし、授業の充実・活性化を図る 積極的な授業参観(含他教科)を促し、授業改善のヒント・助言の充実を図る。		
	職員の資質向上を図る職員研修会の実施及び推進	校内外での研修会の告知と推進を図る。 生徒の実態に即し、時期に応じた効果ある研修会企画・立案・実施する。		
	図書の充実・図書館の利用向上及び図書委員会活動の活発化	生徒・教員の図書ニーズを把握し、蔵書の充実を図り利用向上を目指す。 図書館利用のマネーアップを図り、誰もが利用しやすい図書館をめざす。 委員会会議の定例化を図り、委員会活動の定着と周知に努める。		
	研究紀要の発行	寄稿の呼びかけを適時行い、内容の充実を図る。 発刊により成果を共有し、更なる自己研鑽に繋げる。		
第1学年	基本的な生活習慣の定着を図る	家庭との連絡を密に行い、安易な遅刻・欠席を防ぐ。 面談週間や三者面談を活用し、学校生活に前向きに取り組む気持ちを持たせる。 日常生活や授業の開始・終了時などで挨拶がしっかりとできる雰囲気作りを努める。		
	規範意識の高揚	言葉づかいや服装、髪型等の指導において学年全体で協力し、日常的な指導を徹底する。 生徒指導課と連携し部活動への加入を推進することで、所属意識を高めさせる。		
	授業規律の確立と基礎学力の定着	教務課との調整のもと教科担任会を実施し、各教科担当者との情報の共有を図る。 教室や実習室などの整理整頓に努め、落ち着いた学習環境を整備する。		
第2学年	授業規律の確立と基礎学力の伸長	定期考査に向けて、学年と学科および教科が連携し組織的に指導する体制を整える。 教務課と連携して教科担任会を実施し、各教科担任と学年による情報の共有を図る。 教室の清掃・整理整頓を徹底し、落ち着いた学習環境を整備する。		
	キャリア教育の充実と進路に対する意識の高揚	三者面談を活用し、家庭との共通認識を図る。 進路指導課と連携し、HR等において進路に対する意欲・関心を高める取り組みを行う。 二者面談を活用し、家庭との共通認識を図る。		
	規範意識の高揚と思いやりのある心の育成	各学科と連携し、専門分野への興味・関心を喚起し、資格・検定への積極的な取り組みを促す。 生徒全員を学年団全体で組織的に指導する体制を強化する。 家庭との連絡を密に行い、生徒に関する情報を共有し、遅刻・欠席を少なくする。 学年集会、文化祭やクワスマッチなどの学校行事、修学旅行等において、相互に尊重し協力し合う態度を経験的に学ばせる。		
第3学年	基本的な生活習慣の確立	挨拶や服装等の指導を学年全体で協力し、日常的に行う。 保護者との連絡を密に取り、生徒の動態の把握に努める。 授業や学校行事に積極的に参加させ、全員の卒業を目指す。		
	進路希望100%の実現	進路指導課や学科と連携し、専門分野を中心に求人への確保に努める。 三者面談等を通じて、生徒と保護者との共通認識のもと、希望進路を決定させる。 希望進路実現に向けて、基礎学力の定着を図るとともに、資格・検定の取得への積極的な取り組みを促す。		
	最上級生としての資質の向上	生徒会・農業クラブ・部活動等で、リーダーとしての自覚を持たせ、責任のある行動をとり、最上級生として積極的に取り組む姿勢を培う。 文化祭や進路決定後も、3年生としてふさわしい態度で生活できる生徒を育成する。		

令和元年度 学校自己評価表 (計画段階・実施段階)

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)	次年度の主な課題
農務	授業内容の充実及び農業クラブ活動の活性化	知識、技術の向上を図るため、農業関係機関と連携し、教科指導を推進する。 資格取得の合格率を上げるため、授業内容の充実を図り進路実現に繋げる。 農業クラブ活動における各種競技の上位入賞を目指し、教科指導を徹底する。		
	各学科の連携及び校内販売所運営の推進	各種行事への積極的参加協力する。 学科主任会及び農務全体会の定例化する。 販売所の運営を活性化し、地域への情報発信、生徒による販売実習実践の場を推進する。		
	農業関連産業及び関連機関との連携	農業関係機関や職員研修への積極的な参加を図る。 地域企業との連携、(JA、改良普及センター等の情報交換)		
生物工学科	専門知識と技術を身に付けさせるとともに、勤労観、職業観を育成する。	毎時間1コマを抽出させることで授業に集中させる。 専門的な知識と技術を身につけるため、実験実習ノートの書き方の指導、文章の添削を行う。 生徒の学力に応じた教育を選ぶ。		
	スペシャリストを育成するため、キャリア教育の充実を図る。	専門性を高めるため、プロジェクト学習の定着と社会人特別講師招聘事業の実施する。 実験実習で準備から片付までができるよう指導する。 スペシャリストになるために、現場実習の実施を行う。 将来のスペシャリストになさけい専門知識と技術を身につけさせる。		
	挨拶、時間厳守、礼儀作法、掃除、頭髮・服装等の指導を全員で取り組む。	始業での挨拶、服装指導、結髪の徹底し、社会人としてのマナーを身につけさせる。 実験実習室、更衣室の整理整頓を徹底する。 適切な言葉使いの指導、そのつど注意する。		
食品流通科	希望進路100%に向けた取り組みの充実及び資格取得の推進。	定期考査1週間前から欠点保持者に対しての学科指導を継続して行う。 朝5分間学習の漢字テストを継続し遅刻・欠席の防止を図る。資格取得の推進。 学科の全職員での面接指導・小論文指導を計画的に実施する。 受験する資格の合格者目標値を学科会議で検討・設定し実現する。		
	「学校のパン屋さん」を学科の柱となる活動に進化させる。	毎週水曜日の3年生「課題研究」で取り組み、学校販売所で販売する。 学科の全職員が係わる取り組みとして定着させる。 栽培から加工・販売までの学習内容の取り組みとしての深化を図る。		
	学校内でのマナー教育を充実させる。	基本的な生活習慣の確立を図り、社会に通用する規範意識・マナーを育てる。 職員室、準備室等の入室マナーの指導を学科職員全員で行う。 学習の場の整理・整頓を徹底させる。更衣室・加工室の5S運動。 「時を守り、場を整え、礼を正す」を生活の基本として、指導を徹底する。		
環境緑地科	入学定員を確保するためのPR活動を充実させる。	学校HPに食品流通科更新情報(年間教諭10回、実習助手5回)を行う。 学科の学習活動を販売所で積極的に発信。学校案内、パネル等を常設する。 新商品を全職員が2年間で1商品発売。マスコットを活用し広報活動を行う。 中学生が魅力を感じる学校作り。地域に必要とされる学校作り。		
	学習意欲の向上に努め、学力の定着を図る。	座学・実習を問わず記録時間を設定し、書く習慣を身につけさせる。 進路実現に向けて早期の進路指導を推進する。 教員の資質と技術の向上に努める。		
	道徳モラルの育成。基本的な生活習慣の確立を図る。	挨拶、礼儀作法等、マナー指導に努める。 施設管理、使用等マナー指導を行う。 授業、実習等、安全面に常に注意をはらう。 校外実習(独居高齢者宅庭園管理、植木管理等)でのボランティア精神の高揚に努める。 現場実習受け入れ先企業との連携強化を図る。 専門性を活かした進路開拓を行う。		
社会福祉科	基礎学力の向上と専門的知識・技術の習得のための専門的授業実践	製図や庭園等、作品製作の機会を設定し主体的に取り組むことができる授業環境づくりに努める。 遠隔技術士等の専門に関する資格取得の100%合格を目指し、生徒の適性に合わせた指導の充実を図る。 各種コンクール等に積極的に参加し、知識・技術を高める。		
	基本的な生活習慣の確立とともに自律心と思いやりのある生徒の育成	協同学習を積極的に取り入れた感性豊かな専門教科の主体的・対話的で深い学び ICT機器(電子黒板・ホワイトボード・介護ロボットなど)を活用した授業の工夫 職業人に求められる倫理観を踏まえたワークシートの記入指導及びチーム連携に必要な提出等の徹底 介護技術コンテストの取り組みを通じた協同的な学習と専門教科の学習活動指導		
	希望進路100%実現を目指した具体的な取り組み	時間厳守、挨拶、服装、言葉遣い、礼儀作法など基本的な生活習慣の確立 施設実習や地域高齢者交流・特別支援学校との交流を通じた情報豊かな生徒の育成と視野の拡大を図る教育実践 学科行事・学校行事等の取り組みを通じた達成感と自尊心ある生徒の育成 希望進路実現に向けた職場・進学先の開拓と生徒一人ひとりに合った進路指導の効果的取り組み 面接指導、小論文・作文指導等、進路指導の効果的取り組みと他教科との連携 生徒の希望に対し、進路指導部、他分掌、担任、保護者との連携による適切な進路実現 介護福祉士国家試験の校内模擬試験、公開模擬試験の実施及び結果分析と活用 年間計画の確実な実施と朝課外、放課後課外、夏期、冬期休業中課外の実施と指導の充実 成績不振者・生活課題を持つ生徒への個別指導(きめ細かく、丁寧な指導)の徹底 生徒一人一人の適性を見極めて技術向上のための丁寧な個別指導を実施する。		
食物調理科	食物調理科の専門性を活かした指導	食のプロとしての環境美化・衛生管理を徹底させる。 生徒の進路実現のために早期より準備・対応する。(論文指導、面接指導、就職先開拓等)		
	授業内容の再検討と充実	新学習指導要領を視野に入れた授業を実施する。 校外実習の事前指導を徹底する。(挨拶励行、服装指導、言葉遣い等) 秘書検定、食生活アドバイザーの100%合格をめざして細やかな指導を行う。 料理コンクール全国レベル入賞をめざして新しい知識と技術を習得させる。		
	他学科との連携	介護福祉士として必要な家庭生活の基本的な知識・技術を身につけさせる。(家庭科技術検定(食物・被服)4級合格) 農業3学科の特色を踏まえた授業内容を検討する。 新教育課程と新調理師養成課程に合った指導となるように指導方法を検討する。 人間関係を円滑に行える人間性を育てるために、実習等を通して職員全員で礼儀作法の指導を行う。		
	現在求められている調理師の育成			